

令和7年度 志村坂上おとしより相談センター 事業計画書

1 組織・運営体制

○重点事業・目標の設定

目 標	※把握した担当圏域の現状やニーズに基づき設定 様々な要因で生活が破綻するケースが増加している対応として、保健・医療・福祉のみならず地域の関係機関との円滑な連携を図り、地域で連携しやすい地域づくりを行う。	
重点事業 ※実現可能な範囲であれば複数チェック可 ※チェックした事業は具体的な方針を簡潔に記載	<input checked="" type="checkbox"/> 総合相談支援事業	相談ケース対応時の適切な課題の把握、支援方法を決定し関係機関と連携する。
	<input type="checkbox"/> 権利擁護事業	
	<input type="checkbox"/> 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	
	<input type="checkbox"/> 第1号介護予防支援事業 (介護予防ケアマネジメント)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域ケア会議推進事業	個別ケースの検討を通して、地域課題を把握しネットワークの構築を図る。
	<input type="checkbox"/> 在宅医療・介護連携推進事業	
	<input type="checkbox"/> 生活支援体制整備事業	
	<input type="checkbox"/> 認知症総合支援事業	
	<input type="checkbox"/> 介護予防・生活支援サービス事業	
	<input type="checkbox"/> 一般介護予防事業	

○組織・運営体制における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の退職による業務経験豊富な人材の不足。 ・人材不足による職員の業務量の増大。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼で新規相談、年度新規相談の情報共有と対応困難ケースの検討等を行う。 ・随時、法人へ職員増員の相談を行うほか、内部においても離職防止の検討を行う。

○研修計画 ※個人情報保護措置の研修については必須記載※ (おとしより保健福祉センターが実施・申し込み受付した研修を除く)

会議名	主催	開催回数（開催時期）	内容	備考
個人情報保護措置研修	法人主催	1 回（11 月頃）	個人情報保護措置に係る研修	
権利擁護研修	包括主催	1 回（9 月頃）	その他（備考に記載）	虐待防止のための研修
介護予防研修	包括主催	1 回（6 月頃）	その他（備考に記載）	所内研修
苦情対応研修	包括主催	1 回（1 月頃）	その他（備考に記載）	所内研修
BCP 研修	包括主催	2 回（8 月頃・2 月頃）	その他（備考に記載）	所内研修
ハラスメントに関する研修	外部主催	1 回（未定）	その他（備考に記載）	所内研修

○センターの周知計画及び夜間・早朝や休日等の緊急時における連絡体制

センター周知計画	<input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの配布 <input checked="" type="checkbox"/> 出前講座などの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> SNS・HPなどの活用 <input type="checkbox"/> その他（ ）
緊急時における連絡体制 (センター内)	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時の連絡網の策定 <input type="checkbox"/> その他（ ）

① 総合相談支援事業

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
・地域住民や親族、民生委員等からの相談・情報だけでは、対象者の課題を正確に把握できない場合がある。	・対象者の生活の場に訪問し、緊急性を判断の上、3職種が連携して迅速に対応する。

会議体	開催回数（開催時期）	内容（複数チェック可）				備考
地区町会長会議 （又は地域情報連絡会）	2 回（4 月・12 月）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供)	<input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼	
相談協力員連絡会	1 回（6 月頃）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input type="checkbox"/> 交流会 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> 事例検討会)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会)	<input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼 <input type="checkbox"/> 講演	
地区民生・児童委員協議会	10 回（原則開催月）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 個別相談に対応	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供)	<input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼	
出前講座等 ※主にネットワーク構築を目的と した講座を記載 ※個別の各事業に関連するもの は、該当事業の欄に記載	1 回以上（5 月・9 月・ 11 月・3 月頃）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 講演	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供)	<input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼	（開催先団体名） 志村ふれあい館
	1 回（未定）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 講演	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供)	<input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼	（開催先団体名） シニアクラブ
	1 回（未定）	<input checked="" type="checkbox"/> 挨拶 <input checked="" type="checkbox"/> 講演	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の周知等 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供)	<input checked="" type="checkbox"/> 連携依頼	（開催先団体名） 地域のサロン等

○地域における関係機関・関係者のネットワークの管理

把握情報	<input checked="" type="checkbox"/> 介護サービス事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> 民生委員 <input checked="" type="checkbox"/> その他（町会、自治会、シニアクラブ、サロン等）
管理方法	<input checked="" type="checkbox"/> マップ（紙） <input type="checkbox"/> マップ（データ） <input checked="" type="checkbox"/> リスト（紙） <input type="checkbox"/> リスト（データ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
地域特性の把握内容	<ul style="list-style-type: none"> ・志村地区は9町会あり、坂下と坂上で自然災害（特に水害）に対する防災意識が異なる。 ・坂上と坂下に1か所ずつ銭湯がある。担当圏域にはスーパー等が多く買い物が行きやすい地域である。 ・交通機関を使って都心に出かけやすい。 ・都営住宅が多く、高齢化により安否確認が取れない場合は、JKK（住宅供給公社）や自治会長等と連携して対応している。

○高齢者見守り事業

	登録者の状況把握目標	把握方法	相談協力員との連携方法・時期等
ひとりぐらし高齢者 見守り対象者名簿	(新規) 100%	・訪問、電話、ポステイング等を行うことにより、状況の把握と必要時に支援ができるよう体制を整える。	民生・児童委員協議会への定期参加時に個別相談を受け、連携を図る。個別に相談があった場合には、対象者へ訪問し情報共有・連携を図る。
	(新規以外) 100%	・訪問の季節により、熱中症予防・脱水予防や火の用心等の注意喚起を行い、民生委員や介護支援専門員等との情報共有を図る。	
高齢者見守り キーホルダー	登録勧奨、普及・啓発方法		
	☑ 地域イベント参加 ☑ シニアクラブ・サロン等の訪問 ☑ 個別訪問時の情報提供 ☐ パンフレット作製・配布 ☑ センター主催事業実施時における広報 ☑ センターだよりの活用 ☑ 民生委員や関係機関との連携 ☐ その他（		

② 権利擁護事業

○権利擁護事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待事例や処遇困難事例の初期対応について、緊急性の判断や対応方針を立てることが難しい。 ・認知機能低下、独居、家族の関係が希薄、精神疾患を抱えている等、複合的に課題を抱えている方が困難な事例となりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待通報があった場合には迅速に対応する。訪問は原則2名で行い、緊急性を判断する。所内で虐待研修を行い、知識を身につける。 ・対象者に必要な関係機関と連携を図りながら、課題解決に努める。 ・地域住民に対しては、疾患の理解と協力を得られるように関わる。

○権利擁護事業における実施事業等

会議名	会議種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
出前講座	消費者被害・特殊詐欺等の防止・対応	1回（5月）	主催（講演会）	志村地区合同
出前講座	成年後見制度利用支援	1回（未定）	主催（研修会）	

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○包括的・継続的ケアマネジメントにおける課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所の介護支援専門員の異動・入退職により、新規要介護者の受け入れが難しい場合が増えている。 ・居宅介護支援事業所内での新任ケアマネへの育成に苦慮していることが見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な交流会や勉強会で顔の見える関係づくりを継続し、相互関係を築く。 ・地域の主任ケアマネジャーとケアマネジメント力の強化を目指した研修会を計画・開催する。

○事業者交流会等（包括的・継続的ケアマネジメント支援における会議や研修）の開催計画

会議名	方法	開催回数（開催時期）	テーマ・内容	参加対象	備考
ほっと志村	研修	2回（8月・12月）	権利擁護、特殊詐欺、医療連携、認知症など	介護事業所、医療機関、民生委員、その他関係機関	
ほっと志村	事例検討会	1回（1月頃）	センター又は介護支援専門員等からの困難ケース	主任介護支援専門員 介護支援専門員	
主マネ会	打ち合わせ会	1回（4月頃）	R7年度の取組について	志村坂上地区 主任介護支援専門員	
3包括合同事業者交流会	交流会	1回（11月頃）	権利擁護、特殊詐欺、医療連携、認知症など	介護事業所、医療機関、民生委員、その他関係機関	
主マネ会	交流会	1回（3月頃）	圏域課題について検討等	志村坂上地区 主任介護支援専門員	

④ 第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

※「（2）介護予防・日常生活支援総合事業」との関連性が深いため、併せて記載。

⑤ 地域ケア会議推進事業

○地域ケア会議の実施における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関連した相談で、金融機関等との連携が必要となっている。顔の見えるネットワークづくりを推進していく必要がある。 ・頻回な事業所変更や多問題を抱える対象者などの相談が困難ケースとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域ケア個別会議で把握した地域課題及び個別支援を参加者で共有し、地域課題について地区ネットワーク会議で検討する。 ・圏域の金融機関において認知症についての講座開催、板橋区の取組の紹介、センターの周知活動を実施する。

○実施する地域ケア会議

会議名	開催回数（開催時期）	テーマ	備考
ケアマネジメント支援型地域ケア個別会議（小地域ケア会議）	1回（2月頃）	圏域における対応困難事例について等	
日常生活圏域レベル地域ケア推進会議（地区ネットワーク会議）	1回（未定）	小地域ケア会議から抽出した地域課題について等	

※地域ケア会議として位置付けられている「認知症初期集中支援チーム員会議」については、「⑧ 認知症総合支援事業」で記載。

⑥ 在宅医療・介護連携推進事業

○在宅医療・介護連携推進事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
・高齢者の生活を支えるために、医療機関・介護事業者間の連携・協働における課題の把握や解決策の検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の病院主催の研修会や連携会に積極的に参加する。 ・板橋区在宅ネットワーク懇話会に参加し、知識の向上を図る。

○在宅医療・介護連携推進事業における実施会議等

会議名	開催回数（開催時期）	内容	備考（連携先）
小豆沢病院地域連携交流会	1回（未定）	参加（交流会）	（連携先団体）小豆沢病院地域医療連携センター

⑦ 生活支援体制整備事業

第2層協議体との関わり方について	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に支え合い会議に参加し、テーマに応じて地域情報を提供し、また情報の共有に努める。 ・第2層協議体メンバーと協働して地域の課題解決に向けた取組を提案し、ともに進めていく。 ・支え合い会議に参加する職員は1名以上とし（担当職員は2名）支え合い会議の内容を所内に周知する。 センター長は年1回以上支え合い会議の取組に参加する。 ・支え合い会議の周知やイベントへの参加周知を地域住民に行う。
------------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりが持てるよう各団体（金融機関、商業施設、サロン等）に支え合い会議の参加や協力について働きかけを行う。
第2層協議体と専門職との連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ネットワーク会議等を通じて、第2層協議体の生活支援コーディネーターと地域の医療・介護専門職との顔の見える連携づくりを行う。 ・医療・介護施設・サービス事業者へ第2層協議体への参加や協力について働きかけを行う。

⑧ 認知症総合支援事業

○認知症総合支援事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・本人ミーティングの機会を持つことができていない。 ・認知症サポーター養成講座を受講後、認知症への対応の場面がないことやスキルアップが地域で必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人ミーティングを開催している会場を見学し、運営方法を学ぶ。 ・講座開催した団体に認知症声掛け訓練を実施し、認知症の方や地域の方々にやさしい地域づくりを行う。

○認知症総合支援事業における実施事業・会議等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座	年3回（未定）	主催（講演会）	
志村地区（家族会）に参加	認知症家族交流会支援	6～7回（当番月）	主催（交流会）	事例検討
認知症初期集中支援チーム員会議	認知症初期集中支援事業	6回（隔月）	その他（備考に記載）	
認知症サポーター交流会	認知症サポーターの活動支援	1回（未定）	主催（交流会）	
認知症声かけ訓練	認知症サポーターの活動支援	1回（未定）	参加事業における普及啓発	地域づくり
認知症笑かるた会	その他（備考に記載）	1回（未定）	参加事業における普及啓発	認知症の理解と普及啓発

認知症カフェ参加	認知症カフェ支援	1 回（未定）	その他（備考に記載）	活動把握・活動支援
認知症月間イベント	その他（備考に記載）	1 回（9 月）	参加事業における普及啓発	認知症の理解と普及啓発

（２）介護予防・日常生活支援総合事業

① 介護予防・生活支援サービス事業 ② 一般介護予防事業

○介護予防・日常生活支援総合事業における課題及び解決に向けた計画 ※箇条書きとし、簡潔に記載※

前年度の評価における課題	解決に向けた取組・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・圏域内には住民主体型通所サービスがなく、集う場所が少ない。元気力チェックシートを実施し、事業対象者を把握する場が少ない。 ・介護予防や自立支援の取り組みを推進するために、介護予防サポーターやリハビリ専門職との連携を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン、シニアクラブ等の活動状況を把握し、可能な方法で元気力チェックシートを実施し、事業対象者を把握し介護予防につなげ、支援する。 ・介護予防に取り組む団体等の活動に年 1 回以上参加し、参加者の状態を把握し、必要な情報提供や講座を開催する。 ・介護予防、フレイル予防に向けた講座を企画し、介護予防サポーターやリハビリテーション専門職と協働する。 ・集う場として、商店街等に場所の相談をしていく。 ・元気力向上教室について、支え合い会議や地域ケア会議、地域の医療機関等へ周知を行い、介護予防に取り組む高齢者を増やす。

○介護予防・日常生活支援総合事業における実施事業等

会議・事業名	会議・事業種別	開催回数（開催時期）	内容	備考
志村坂上元気力測定会	介護予防把握事業	2 回（4 月・10 月頃）	参加事業における普及啓発	
元気力チェックシート相談	介護予防把握事業	1 回（未定）	参加事業における普及啓発	
10 の筋トレグループの支援	地域介護予防活動支援事業	1 回以上（担当圏域のグループ）	その他（備考に記載）	出前講座、測定会等

金融機関との連携	介護予防普及啓発事業	6 回（偶数月予定）	その他（備考に記載）	介護予防に関する内容等
商店街や企業との連携	介護予防普及啓発事業	1 回以上（未定）	その他（備考に記載）	集う場の相談等